

平成30年度 中津市社会福祉協議会 事業報告

■ 事業報告 概要

▶ はじめに

少子高齢化や核家族化、人口減少社会の進む中、わが国を取り巻く環境は大きく変化し、それぞれの価値観や生活の仕方は多様化するなどして、地域における支え合いの機能は低下し、地域社会において、様々な支援を求める人々が増えています。

その様な中、身近な地域でも8050問題、ゴミ屋敷、ダブルケア（子育て・介護）、子どもの貧困や虐待など地域社会からの孤立が背景となることが多く、従来の高齢者、障害者、児童といった福祉分野を超え、公的な支援だけでは対応が難しいという挟間の課題を抱えた共通点があります。

さらに近年多発する自然災害の対応についても、地域ごとの防災意識の醸成や災害時の要配慮者に対する支援のあり方など、引き続き重要な課題となっています。

こうしたなか、国では地域社会の変容する課題に対応するために、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として考え、ひとと人、人と社会資源が世代や分野を超えて「丸ごと」結びつくことで、地域に暮らす一人一人が生きがい、地域を自分たちで創っていく社会、すなわち「地域共生社会」を実現するための体制整備が進められています。

平成30年度は、ますます複雑多様化する課題に対応できる総合相談支援体制の充実や新たな相談拠点（耶馬溪）の整備、第3次中津市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成29年度～平成33年度）の実践に向けた支援や、地域を支える人材育成のための講座の開催や新たな生活支援の仕組みづくり等を行いました。また、本会が行っている在宅福祉サービスと施設福祉サービスの事業所間の連携による交流を行い、利用されている皆様ひとり一人が生き活きと快適に過ごせるよう支援を行いました。

さらに、組織経営基盤の強化を図るため、在宅福祉課本所機能の拠点移転や、経営コンサルタントを含めた「やすらぎ荘プロジェクト」を立上げ、収支改善と労働環境改善を行い、健全経営に繋げることができました。

1 多様なケースに対応できる総合的な相談支援体制づくり

(1) 相談関係事業所などとの連携・強化

平成29年4月より「くらしの総合相談窓口」として、相談の種類を限定せずに多様な相談を受ける体制を構築し、経済的問題のみならず、就労、介護、障がい、権利擁護、生活支援、人間関係など多岐にわたる相談を受けています。寄り添い支援を基本に個々の状況に応じた支援を目指し、市内の社会福祉法人や地域包括支援センター、障がい者相談支援事業所、行政など、多くの関係機関との協働による支援を図り、連携・強化の充実に向けて取り組みました。

また、地域との連携として、『我が事・丸ごと地域共生社会』の柱でもある「地域における住民主体の課題解決力・相談支援体制」を目指し、寄り合いの場や住民型有償サービス活動の状況把握に努め、連携体制のための地域福祉拠点づくりとして、「多機能型地域生活拠点」のモデル的な取り組みを2ヶ所（沖代・耶馬溪）にて行ないました。

(2) 気軽に相談できる受け入れ環境の整備

社協が受託している事業のひとつである、地域包括支援センター社協の業務の主たる拠点を新たに設置したことにより、主任介護支援専門員・看護師・社会福祉士の3職種での連携体制強化に取り組みました。

また、平成30年1月より受託している山国社会福祉センターの本格稼働により、地域の身近な福祉拠点としての機能の充実に努め、地域住民の方々にとって、気軽に相談できる場所としての環境整備に積極的に取り組みました。

2 ニーズを抱える高齢者や障がい者の生活を地域の実情に沿って支援するサービスの開発

(1) 日常生活を営む上での必要な支援を行なう生活サポート事業の展開

地域での暮らしを支援するサービスの開発と地域づくりを目指し、「住民による住民のための生活サポート事業」として、住民型有償サービス団体の新規立上げ支援を行なったことにより、2つの地区（南部・三光）にて発足し、さらに、新たに立上げを目指す地区（小楠）での準備会議への支援を行ないました。

また、市と共に開催している「生活支援・介護予防を考える会」の課題となっていた『移動・外出支援』の解決策として、山国地区をモデルとした「法人の車両を活用した移動・外出支援」について、次年度に向けて内部での会議・検討会議を開催しました。

(2) 住民の権利を継続的にサポートする権利擁護事業の展開

福祉サービス利用援助事業（あんしんサポート）及び法人後見事業等の権利擁護の充実を目指し、増加傾向にある新規の契約や受任の方に対する支援を、滞りなく細やかに行なえるよう、市民後見人候補者の育成に努め、業務に関わる職員の配置強化を行いました。

重点目標 2 福祉サービスの開発と展開

1 介護事業などを活かした、地域に必要とされるサービスの展開

本会の福祉サービスを利用されている皆様が、在宅福祉サービスと施設福祉サービス事業所の交流活動を通し、ひとり一人が生き活きと快適に過ごせるよう、活発な交流活動を行いました。

生きがい元気アップクラブ三光と養護老人ホーム豊寿園との交流活動では、豊寿園の入所者の方に対し、レクリエーション等を実施しました。次に、デイサービスセンター耶馬溪と特別養護老人ホームやすらぎ荘との交流活動では、やすらぎ荘入所者とリズム体操等を実施し、事業所間の連携による介護予防プログラムの充実と自立に向けた支援強化を図りました。また、ホームヘルパーが訪問時、食事前にパタカラ体操（口腔体操）を行い、誤嚥のリスクの軽減を図り、介護事業等を活かした活動を推進しました。

重点目標 3 “生きがい”につながる福祉活動とボランティア活動

1 地域の社会資源を活用した高齢者・障がい者の生きがいづくり

(1) 高齢者・障がい者が交流できる地域行事の企画・支援

住民に身近な拠点（資源）である「地域サロン」を活かした「多機能型地域生活拠点」づくりを目指し、沖代すずめの家を活用した「よりあ」にて、多様なプログラムで実施し、高齢者を中心としてさまざまな人が交流できる場として実施しました。

また、平成 29 年度から準備に取り組んできた「耶馬溪まーちゃん家」が平成 30 年度に開所し、中津南高耶馬溪校生活福祉コース 2・3 年による地域の高齢者との交流事業「だいだいクラブ」（月 1 回開催）の支援を行ないました。さらに、同場所にて、県の介護予防モデル事業を活用した「元気塾」を開催することで、耶馬溪・山国地区でボラン

ティア活動を行なっている高齢者の方々の交流につながりました。

2 ボランティアをしたいという想いをカタチにするための中津市ボランティア・市民活動センターの強化

(1) ボランティア活動の実践につながる研修会の実施

平成 30 年度事業として中津市より、ボランティア講座開催の事業を受託したこともあり、ボランティア活動推進研修会のさらなる充実を図りました。平成 29 年度に男性対象で行った「クッキング男塾」の第 2 弾として新たな男性を対象に「スイーツ男塾」を開催し、作ったものを高齢者に届けるこれまでボランティア活動参加経験のない方への啓発となりました。

また、寄り合いの場でボランティア活動を実践されている方々を対象に研修会を行ない、活動の更なる充実に向けての支援を行ないました。

重点目標 4 地域福祉ネットワークの実現

1 地域の課題解決に向けてつなげられる地域の人財（リーダー）づくり

(1) 福祉課題の解決につながる専門的な知識を身につけることができる講座の開催・支援

地域住民同士で生活支援を行なう「住民型有償サービス」は、地域の課題解決を担う重要な人財となっています。その人財をコーディネートする「マネージャー」の役割の重要性から、さらなるスキルアップを図るため、マネージャー同士の横のつながりや専門職との連携、対応スキルの向上の内容での研修会を開催しました。

(2) 地域の課題に気が付き、それを解決できる所とつながることができる「コーディネーター」の養成

平成 27 年度から受託している生活支援体制整備事業において、地域の身近な存在として「第 2 層生活支援コーディネーター」を地区ごとに発掘・設置しており、29 年度に配置した南部・山国地区担当に加え、三光地区に配置しました。30 年度途中には今津地区でも第 2 層生活支援コーディネーターを配置し、高齢化が進む地域社会において、高齢者の生活支援・介護予防につながる「つなぎ役」の増員に努めました。

また、コーディネーターの資質向上に向けて、第1層・第2層共に内外の学習会に積極的に参加しました。

(3) 地域に存在する社会資源（お宝）の発掘と人財バンクの構築

新たに三光地区に、第2層生活支援コーディネーターを配置したことにより、三光地区住民を対象に、地域の社会資源（お宝）状況を深く知り、課題解決に向けての意識を醸成する場として、「お宝探し塾」を開催しました。これまで三光地区内で、表に出てこなかった、住民同士の自然な支え合い活動が認識される機会となり、自分たちの地域の良さを改めて知る機会になり、地域の基盤強化につながりました。

また、30年度の支え合いスタッフ養成研修を開催し、人財バンク「あんさんく」の登録者の増加につながりました。

2 見守り体制や災害対応が出来る住民参画の地域に向けた地域福祉ネットワークづくり

(1) 地域住民が集まる場と機会の充実

子どもから高齢者までさまざまな住民が集まる機会となっている「みんなのふくしまつり」にて、第10回を迎えるにあたり、新たに「地域福祉活動」をクローズアップする場を設け、多くの方が地域福祉について知る機会としての充実を図りました。

(2) 広域（15地区）のネットワークと小地域ネットワークづくり

既存の地域福祉ネットワーク協議会の事務局会議・定例会・活動への参加協力を行うことで協議会を運営する方々との連携を図りました。中でも、三光地区においては、以前より立上げ支援をしてきた「地域福祉ネットワーク協議会」が発会、本耶馬溪地区では、見守り活動を推進する「ふれ愛ネットワーク推進委員会」主催の「合同研修会」の開催支援、耶馬溪地区では、社会福祉法人下毛もみじ会との協働で、「耶馬溪地域福祉ネットワーク会議」を発足、山国地区では、地域福祉ネットワーク協議会「源流の郷やまくに」主催の見守り活動について考える拡大会議開催の支援を行ないました。

(3) 地域の活動や資源に関する情報収集・発信・共有の充実

フェイスブックにて、地域の福祉活動の発信や社協主催の地域福祉事業の発信を随時行ない、地域福祉意識の啓発に努めました。

また、社協ホームページの地域情報コーナーを整備し、各地区の寄り合いの場等、住民福祉活動の機会へ出向き、取材したものを更新し、地域の情報発信に努めました。

重点項目 5

効果的・効率的な経営基盤（組織・人財・財政）の確立

（組織に関すること）

1 災害や地域ニーズに対応できる組織体制づくり

地域ニーズや災害時の事業継続計画（BCP）の対応など、より地域に根差した拠点づくりとして、平成30年4月から在宅福祉課本所機能を三光から本耶馬溪（本耶馬溪総合福祉センター管理棟内）へ移転、地域包括支援センターの本拠点を耶馬溪に集約（市耶馬溪支所内）し、業務の円滑な推進とサポート体制の強化を図りました。

（人材に関すること）

2 職員の研修体系の確立

職制別の研修会（管理職・中間監督職・一般職員等）の定期的な開催や全職員対象の全体職員研修会を開催し、社会福祉協議会職員としての意識醸成に努めました。

（財源に関すること）

3 自主財源を確保するために多様な取り組みの実施

やすらぎ荘の収支改善や職員の労働環境改善（勤務時間等の見直し）を目指し、経営コンサルタントを含めた「やすらぎ荘プロジェクト」を立上げ、業務内容の改善や勤務時間の見直し、介護報酬加算等の検討を行い、大幅な改善に繋げることができました。

1. 法人会務の運営

法人の運営にあたり、理事会・評議員会・監事会を開催。
提案された議案については、原案どおりすべて承認。

1) 理事会

第1回 平成30年 6月 6日(水) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 13名 欠席 4名 監事出席 2名
第1号議案 平成29年度事業報告について
第2号議案 平成29年度決算報告について
(監査報告)
第3号議案 平成30年度第1次補正予算について
第4号議案 定款の変更について
第5号議案 評議員候補者の推薦について
第6号議案 評議員・選任解任委員の選任について
第7号議案 評議員会の招集について

第2回 平成30年11月20日(火) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 中会議室AB
出席 11名 欠席 6名 監事出席 1名
第1号議案 平成30年度第2次補正予算について
第2号議案 規程の変更について
第3号議案 評議員会の招集について
報告事項 職務執行状況報告について

第3回 平成31年3月15日(金) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 14名 欠席 3名 監事出席 1名
第1号議案 平成30年度第3次補正予算について
第2号議案 平成31年度事業計画について
第3号議案 平成31年度当初予算について
第4号議案 規程の変更について
第5号議案 評議員候補者の選任について
第6号議案 評議員会の招集について
報告事項 職務執行状況報告について

2) 評議員会

第1回 平成30年 6月26日(火) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 30名 欠席 4名 監事出席 2名
第1号議案 平成29年度事業報告について
第2号議案 平成29年度決算報告について
(監査報告)
第3号議案 平成30年度第1次補正予算について
第4号議案 定款の変更について
第5号議案 理事の選任について

第2回 平成30年12月13日(木) 14時00分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 26名 欠席 8名 監事出席 2名
第1号議案 平成30年度第2次補正予算について

第3回 平成31年 3月26日(火) 13時30分 場所 中津市教育福祉センター 多目的ホール
出席 25名 欠席 9名 監事出席 1名
第1号議案 平成30年度第3次補正予算について
第2号議案 平成31年度事業計画について
第3号議案 平成31年度当初予算について
第4号議案 理事の選任について

3) 監査会

平成30年5月25日(金) 9時00分 中津市教育福祉センター 中会議室AB
結果：事業状況、収支決算状況とも特に指摘事項なし

2. 会費、寄付金及び共同募金

1) 会費(会員)

	一般会費		特別会費	
	人数	金額	人数	金額
一般会費	4,553口	4,553,500円		
特別会費	84口	420,000円		
合計	4,637口	4,973,500円		
	地区	一般会費	特別会費	
	中津	—	84口	420,000円
	三光	1,452口	0口	0円
	本耶馬溪	974口	0口	0円
	耶馬溪	1,304口	0口	0円
	山国	823口	0口	0円
	計	4,553口	84口	420,000円

2) 寄付金

香典返し	259件	10,458,000円
一般寄附	61件	846,114円
合計	320件	11,304,114円

地区	香典返し		一般寄附	
中津	124件	5,313,000円	50件	677,656円
三光	25件	630,000円	3件	50,000円
本耶馬溪	28件	585,000円	3件	33,561円
耶馬溪	53件	2,780,000円	3件	40,000円
山国	29件	1,150,000円	2件	44,897円
計	259件	10,458,000円	61件	846,114円

3) 物品寄付

ギフトカード	1 件	21,400円
車椅子	11 台	596,800円
電動ベッド一式	5 台	858,500円
オムツ、パッド	3 件	111,500円
タオル類	4 件	44,900円
パステル画	1 枚	150,000円
米	120 kg	40,000円
書籍	1 冊	1,600円
物品寄付額 (相当額)		1,824,700円

4) 中津市共同募金委員会への協力

赤い羽根共同募金	20,034件	8,646,096円
歳末たすけあい募金	20,761件	6,038,161円
合計	40,795件	14,684,257円

募金種類	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
戸別募金	20,027件	8,398,840円	20,158件	3,626,060円
街頭募金			2件	31,306円
法人募金	1件	16,214円	548件	2,094,536円
職域募金	3件	156,264円	3件	9,278円
イベント募金			1件	36,097円
その他募金	2件	74,776円	49件	240,884円
預金利息	1件	2円		
計	20,034件	8,646,096円	20,761件	6,038,161円

[戸別募金内訳]

地区	赤い羽根共同募金		歳末たすけあい募金	
旧中津市内	15,459件	6,480,280円	15,599件	2,803,980円
三光	1,487件	624,540円	1,485件	267,320円
本耶馬溪	980件	411,600円	980件	176,400円
耶馬溪	1,283件	538,860円	1,275件	230,940円
山国	818件	343,560円	819件	147,420円
計	20,027件	8,398,840円	20,158件	3,626,060円

- ・大分グルメ散歩募金（大分県共同募金事業）86,530円の売上げがあり、その内16,214円を募金。
- ・期間外募金43,331円（自動販売機手数料：43,320円、銀行利息：11円）については、31年度計上。

5) 中津市共同募金委員会への協力（災害義援金）

平成30年7月豪雨災害義援金	155,191円
平成30年7月広島県豪雨災害義援金	109,917円
平成30年7月大阪府北部地震義援金	1,565円
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	58,277円
平成30年米原市竜巻災害による義援金	364円
平成28年熊本地震義援金	9,485円
合計	334,435円

3. 住民主体による小地域ネットワークの推進

1) 寄り合いの場支援

住民が主体的に、住民同士の交流・関係づくり・介護予防を目的に行われている場づくりを支援

中津市全体	95カ所	寄り合いの場の種類・説明
地域サロン	5カ所	地域の中の民家や空き家等を活用して主体的な拠点を整備し、開催回数も週1～2回で、日常生活に密着した寄り合いの場
ミニデイサービス	8カ所	小・中学校区の範囲で、いきいきサロンの広域版である「交流型」と生きがいややりがいをテーマとした「活動型」
いきいきサロン	82カ所	自治区や集落等の小地域で、高齢者等を対象にしながら、月1回程度住民同士の交流の場として実施

※30年度 新規寄り合いの場：スマイルサロン（鶴居）、だいだいクラブ（耶馬溪）、サロン中村（耶馬溪）、家籠ふれあい会（耶馬溪）

2) 地域福祉ネットワーク協議会構築支援

地域の社会資源や人材のネットワークを図り、住民一人ひとりが主体的に地域の社会福祉に参加・協力しながら、地域の身近な「支えあい・助け合い」活動を支援。

○地域福祉ネットワーク協議会の組織状況 (地区内の地域福祉推進活動)

No.	校区 地区	組織名称 (校区ネット)	発足 年月日	定例会	事務局会 議等	平成30年度の主な動き	助成金
1	南部	南部地区ネットワーク協議会ぽけっと	H18.10 ↓ H24.4	3カ月に1回	随時 (部会は運営委員会の ない月に開催)	・部会活動の推進 (防災部会等) ・サロン合同交流会の開催 ・第2層生活支援コーディネーターとの連携 ・情報紙の発行 (年3回) ・ネットワーク総会、研修会	○
2	北部	(未定)	-	-	-	-	-
3	小楠	小楠校区地域福祉ネットワーク協議会 「OGUSU 友愛 2017」	H29.12	3カ月に1回	毎月1回	・部会の組織化と定例会の定着化 (定例会で部会開催) ・週一体操啓発の研修会開催 ・環境部会主催の研修会開催 ・広報紙の発行	○
4	豊田	「生き活き・豊田」	H22.12	随時	随時	・ネットワーク総会 ・豊田カフェ (2回開催: 世代間交流他) ・青少年健全育成との協働による取組推進	○
5	沖代	沖代校区ネットワーク協議会	H18.9	随時	第4水曜日	・地域福祉研修会開催「終活について」 (10/9) ・情報紙の発行 (年3回) ・総会、定例会の開催 ・事務局拠点あいがも (公民館内)	○
6	鶴居	鶴居校区地域福祉ネットワーク協議会	H26.4	-	-	-	-
7	大幡	大幡福祉の会“輪”	H20.1	月1回	月1回	・月1回の定例会により、地域福祉活動計画の推進を図る ・地域福祉研修会開催「寄り合いの場づくり」 (2/23) ・地域福祉情報紙の発行	○
8	如水	(未定)	-	-	-	-	-
9	三保	(未定)	-	-	-	-	-
10	和田	(未定)	-	-	-	-	-
11	今津	福祉の郷「いまづ」	H21.1	-	-	-	-
12	三光	ふくしの里“ややま”	H31.3	-	-	H31年3月8日発会式	-
13	本耶馬溪	(ふれ愛ネットワーク推進委員会)	-	-	-	ネットワーク協議会につながる拡大会議を開催 (H31.3)	-
14	耶馬溪	(耶馬溪町地域見守りネットワーク協議会)	H23.5	随時	随時	・H29見守り拡大会議後の活動推進 ・会長・事務局会議	○
15	山国	源流の郷やまくに福祉の会	H22.10	随時	随時	・役員会の開催 ・定例会の開催 ・拡大会議開催 (3/2) ・住民型有償サービス「つゆくさ」支援	○

3) 各種団体等助成金

市内において社会福祉を目的として、各種団体やボランティアグループ等が実施する様々な社会福祉貢献活動や事業に対して助成を行う

区分	件数	助成額	助成内容
小地域福祉活動助成 (市)	29件	1,392,000円	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
小地域福祉活動助成 (社協会費)	29件	692,100円	見守り活動及び交流活動を行うために、自治区単位で組織されている団体への活動助成
地域福祉推進活動助成 (市)	7件	518,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への活動助成
地域福祉推進活動助成 (歳末)	7件	290,000円	地域の福祉課題の解決を目指すべく組織された地域福祉ネットワーク協議会への運営助成
ボランティア活動助成 (共募)	50件	1,500,000円	会員が自発的に明確な意思・目的をもって結成し、活動している団体への活動助成
ボランティア推進校助成 (共募)	9件	270,000円	小中高等学校が取り組む福祉活動・ボランティア活動に対する助成
寄り合いの場活動助成 (共募)	89件	1,262,000円	地域の寄り合いの場 (地域サロン等) への活動助成
寄り合いの場活動助成 (社協会費)	62件	1,985,000円	地域の寄り合いの場 (地域サロン等) への活動助成 (三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国)
住民型有償サービス活動助成 (共募)	7件	800,000円	住民主体の在宅福祉サービス (家事援助・身体介護等) 団体への活動助成
一般公募助成 (共募)	4件	607,000円	高齢者・障がい者 (児)・子ども・防災など事業への助成 (1団体上限30万円)
見守り配食活動助成 (社協会費)	3件	79,448円	一人暮らし高齢者等への手作り弁当配食 (本耶馬溪1件、山国2件)
公民館助成 (寄付金)	14件	210,000円	校区 (地区) 公民館を対象に、地域福祉の拠点や活動の連携を図る目的として助成
民生委員児童委員活動助成 (寄付金)	15件	1,031,362円	共同募金 (企業募金) 実績に基づき助成
自治委員活動助成 (寄付金)	15件	1,858,248円	共同募金と歳末たすけあい募金 (戸別) 実績に基づき助成
合計	340件	12,495,158円	

4. 相談機能の強化による在宅福祉サービスの充実

1) 障がい者福祉サービス事業

障がいをもつ方に対して、ホームヘルプサービス及び訪問入浴サービスを実施

①居宅介護事業（家事援助）

実利用者数	6名	延利用回数	805回	延活動時間数	960時間
本耶馬溪	4名	本耶馬溪	291回	本耶馬溪	420時間
耶馬溪	2名	耶馬溪	514回	耶馬溪	540時間

(障害区分：身体2名、精神2名、視覚1名、知的1名)

②居宅介護事業（通院等介助）

実利用者数	3名	延利用回数	10回	延活動時間数	41時間
本耶馬溪	3名	本耶馬溪	10回	本耶馬溪	41時間
耶馬溪	0名	耶馬溪	0回	耶馬溪	0時間

(障害区分：視覚2名、知的1名)

③同行援護事業

実利用者数	15名	延利用回数	300回	延活動時間数	457時間
本耶馬溪	11名	本耶馬溪	82回	本耶馬溪	239時間
耶馬溪	4名	耶馬溪	218回	耶馬溪	218時間

(障害区分：視覚15名)

④障がい児・者訪問入浴サービス事業（中津市内で一事業所のみ）（市受託事業）

実利用者数 なし 延利用回数 なし

2) 移動支援事業

自宅に引きこもりがちな障がいをもつ方の外出を支援するサービス（市受託事業）

実利用者数	5名	延利用回数	65回	延活動時間数	166時間
本耶馬溪	5名	本耶馬溪	65回	本耶馬溪	166時間

(障害区分：身体2名、精神1名、知的2名)

3) 障がい児(者)余暇活動支援事業(てくてく)

余暇を充実して過ごすための活動の場を提供することで、障がい児者の心身の健康増進と自立のための能力の獲得を目的とした事業
H30年度より、夏休み中の障がい児支援事業「さんぼ」がH29年度に廃止されたことにより、夏休み中の取り組みも実施。（市受託事業）

①てくてく

開催回数	実利用者数	専任職員
12回	25名	3名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(延べ数)
利用者数	12名	10名	7名	7名	11名	14名	4名	7名	10名	11名	11名	14名	118名
きょうだい児	4名	3名	3名	4名	4名	3名	1名	3名	1名	3名	3名	5名	37名
保護者	1名	7名	4名	8名	8名	8名	2名	8名	8名	6名	8名	4名	72名
ボランティア	1名	0名	0名	0名	2名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	2名	6名

②夏休み中の取り組み（Summer てくてく）

開催回数	実利用者数	専任職員
8回	22名	4名

	7/31	8/1	8/2	8/3	8/7	8/8	8/9	8/10	計(延べ数)
利用者数	9名	5名	9名	10名	11名	5名	6名	8名	63名
きょうだい児	1名	1名	2名	5名	4名	2名	3名	2名	20名
保護者	5名	1名	5名	4名	7名	4名	3名	4名	33名
ボランティア	8名	9名	8名	13名	8名	8名	8名	8名	70名

③春休み中の取り組み（spring てくてく）

開催回数	実利用者数	きょうだい児	専任職員
1回	5名	3名	3名

4) 福祉用具貸出事業

在宅での要支援者や障がい者等に対して、福祉用具を貸与し、本人や介護者の負担を軽減するなど、在宅生活の便宜を図る。

【電動ベッド】

- ・貸出総数 190台
- ・保有台数 194台 ※内廃棄数 2台

貸出対応件数

中津	12件
三光	7件
本耶馬溪	4件
耶馬溪	9件
山国	8件
計	40件

【車椅子】

H30.3.31現在

- ・貸出総数 124台
- ・保有台数 161台 ※内廃棄数 6台

貸出対応件数

中津	130件
三光	7件
本耶馬溪	3件
耶馬溪	21件
山国	13件
計	174件

5) 介護保険事業

①介護老人福祉施設事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

65歳以上で身体や精神上の障がいのため常時介護を必要とし、在宅での介護が困難な人が対象の事業。特に食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理・リハビリ・療養上のケアを提供

（本入所）・・・定員 80名

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		81名	80名	80名	81名	78名	79名	79名	80名	78名	79名	80名	80名
延べ人数		2,321名	2,460名	2,317名	2,337名	2,355名	2,319名	2,412名	2,279名	2,353名	2,345名	2,162名	2,349名	28,009名

②短期入所生活介護事業（中津市特別養護老人ホームやすらぎ荘）

冠婚葬祭や旅行などで介護ができないときに利用したり、介護疲れを防ぐために短期間の施設利用。食事や入浴、排せつなど日常生活の世話やレクリエーション、リハビリなどを提供

（短期入所）・・・定員 20名

サービス 実施状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	実人数		29名	28名	26名	29名	26名	25名	26名	30名	28名	28名	29名	31名
延べ人数		374名	430名	389名	424名	346名	349名	368名	363名	397名	439名	414名	447名	4,740名

③訪問介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な事業対象者に対して、ホームヘルプサービスを実施

実利用者数	142名	延利用回数	9,730回	延訪問時間	9,065時間	
本耶馬溪	49名	本耶馬溪	3,485回	本耶馬溪	3,177時間	(介護：27人、予防：22人)
耶馬溪	93名	耶馬溪	6,245回	耶馬溪	5,888時間	(介護：44人、予防：49人)

④訪問型サービスA

比較的介護度が低い方（要支援1、2及び介護予防事業対象者）に対し、ホームヘルプサービスを実施

実利用者数	9名	延利用回数	404回	延訪問時間	304時間
本耶馬溪	3名	本耶馬溪	161回	本耶馬溪	121時間
耶馬溪	6名	耶馬溪	243回	耶馬溪	183時間

⑤通所介護事業

要支援者及び要介護者やサービス利用が必要な介護予防事業対象者に対して、デイサービスを実施

(通常型) 開設日数	1,210日	日/年	実利用者数	412名	延利用人数	25,578名
三光	303日		三光	57名	三光	4,311名
本耶馬溪	302日		本耶馬溪	125名	本耶馬溪	6,677名
耶馬溪	303日		耶馬溪	115名	耶馬溪	7,417名
山国	302日		山国	115名	山国	7,173名

⑥通所型サービスA（生きがい元気アップクラブ）

サービス利用が必要な介護予防事業対象者に対して、デイサービスを実施

(緩和型) 開設日数	599日	日/年	実利用者数	115名	延利用人数	3,837名
三光	247日		三光	30名	三光	1,244名
耶馬溪	251日		耶馬溪	62名	耶馬溪	1,800名
山国	101日		山国	23名	山国	793名

⑦訪問入浴介護事業

要支援者に対して、訪問入浴サービスを実施（中津市内で一事業所のみ）

実利用者数	20名	延利用回数	533回
-------	-----	-------	------

⑧居宅介護支援事業

要支援者及び要介護者に対して、介護計画書を作成。

ケアプラン作成件数 4,257件 件/年

本耶馬溪	1,847件
耶馬溪	1,066件
山国	1,344件

6) 高齢者生活福祉センター事業

高齢者に対して、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供し、高齢者が安心して健康で明るい生活が送れるよう支援。

入居者数（ショート利用者）												
施設名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本耶馬溪生活支援ハウス	11名	11名	11名	9名	10名(1名)	11名	10名	10名	11名	11名	11名(1名)	11名
耶馬溪生活支援ホーム	10名	9名	10名	10名	9名	8名	8名	8名	8名	9名	9名(1名)	9名(1名)
山国生活支援ハウス	17名	15名	15名	15名	15名	13名	12名	12名	11名	9名	9名	10名

7) 老人福祉施設養護老人ホーム運営事業

老人福祉施設事業（養護老人ホーム中津市豊寿園）

経済的理由、環境上の理由により自宅で生活が困難と判断された、65歳以上の自立した高齢者の方が対象の施設。地域福祉を推進する社協として地域に開かれた施設経営を展開し、地域住民参加の活動を計画し地域交流を深め、また入所者の生きがいにつながる取組みを積極的に推進

年間在所状況	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	日数		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	365日
入所者実数		53名	53名	52名	54名	54名	53名	55名	58名	57名	56名	55名	56名		
延べ人数		1,538名	1,614名	1,515名	1,617名	1,605名	1,546名	1,672名	1,594名	1,704名	1,673名	1,505名	1,649名	19,232名	
年間異動状況	新規	他施設					1名							1名	
		医療機関			1名										1名
		在宅			1名		1名	1名	3名				1名		7名
	退所	社会復帰													0名
		医療機関					1名				1名	1名		1名	4名
		他施設					1名			1名					2名
		死亡		1名											1名
	入退院(外泊)	入院(外泊)	4名	4名	4名	5名	5名	4名	7名	3名	3名	6名	3名	8名	56名
		退院(外泊)	4名	5名	1名	6名	4名	4名	5名	4名		7名	3名	5名	48名

8) 地域包括支援センター事業

平成30年度より、業務の主たる拠点を耶馬溪（市耶馬溪支所内）に置き、三光～山国エリアを担当。（市受託事業）

(1) 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活ができるようさまざまな相談に応じる

相談件数	2,888件
------	--------

② 権利擁護業務

高齢者が尊厳を持って生活できるように、虐待や困難事例への対応及び成年後見制度の活用を行う

対応件数	217件
------	------

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域のケアマネへの指導助言や多職種連携によるケアマネジメント体制を作る

・ 包括的・継続的なケア体制の構築	229回		
・ 地域における介護支援専門員のネットワークの活用	31回		
・ 日常的個別指導・相談	34回		
・ 支援困難事例等への指導・助言	7回	合計	301回

(2) 介護予防事業普及啓発事業

高齢者を介護している方や地域支援者等 一般住民に対して、介護・福祉サービスや介護予防について普及啓発を図る

○ 介護予防に関する講話、講演会、相談会

実施回数	14回
参加者数	174名

(3) 各種調査業務

① 「食」の自立支援事業実態調査	調査件数	58件
② 住宅改修理由書作成		16件
③ 緊急通報用電話貸与事業実態調査及び相談		22件
④ 老人日常生活用具給付等事業実態調査及び相談		1件

(4) 介護予防支援（計画作成）業務

要支援1.2の方に対する介護予防サービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	217件	240件	210件	263件	211件	239件	254件	196件	214件	283件	263件	295件	2,885件
作成件数	93件	97件	99件	99件	98件	98件	103件	102件	106件	108件	106件	107件	1,216件

（介護予防ケアマネジメント事業）介護予防・日常生活総合支援事業の方に対するサービス計画作成に関する業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	252件	227件	287件	301件	250件	219件	232件	226件	276件	229件	230件	218件	2,947件
作成件数	156件	150件	149件	153件	149件	151件	146件	145件	138件	138件	133件	132件	1,740件

9) 合併周辺地域総合相談支援センター事業

合併周辺地域総合相談支援センターとして、本耶馬溪・耶馬溪・山国エリアにおいて、障がい者・児の総合相談支援業務を行う。(市受託事業)

相談件数	172件												
<table border="1"> <tr> <td>障がい者</td> <td>172件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>なし</td> </tr> </table>	障がい者	172件	その他	なし									
障がい者	172件												
その他	なし												
障がい者の障がい別 内訳	172件												
<table border="1"> <tr> <td>身体障がい</td> <td>61件</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>精神障がい</td> <td>63件</td> </tr> <tr> <td>高次脳機能障がい</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>発達障がい</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>25件</td> </tr> </table>	身体障がい	61件	知的障がい	13件	精神障がい	63件	高次脳機能障がい	10件	発達障がい	0件	その他	25件	
身体障がい	61件												
知的障がい	13件												
精神障がい	63件												
高次脳機能障がい	10件												
発達障がい	0件												
その他	25件												

10) 認知症地域支援推進事業

平成27年度からの委託事業。地域包括支援センター内に認知症地域支援推進員を置き、認知症患者・家族に対する支援と認知症理解に向けた地域づくりを行なう。

(1) 人員配置

- ・ 認知症地域支援推進員 1名
- ・ 嘱託医 1名

(2) 会議・研修会参加

項目	回数	内容
認知症地域支援推進員等連絡会議	4回	大分県主催の会議。大分県の認知症施策の説明、推進員の活動、認知症サポート医との連携、若年性コーディネーターとの連携などについて

(3) 認知症支援、普及啓発に関する各種取組

① 普及啓発活動

- ・ 広く住民に対する理解促進

項目	回数	開催月	内容	参加者数
認知症サポーター養成講座	5回	7月	住民型有償サービス支え合いスタッフ養成研修	26名
		10月	下池永集会所(一般)	28名
		11月	イオン三光イベントホール(一般)	39名
		1月	耶馬溪中学校1年生	19名
		2月	山国中学校全校	40名
認知症講演会	1回	9月	「認知症になっても最後まで住み慣れた町で生きと暮らせる三光地区を目指して」と題して実施。※講師：由布市介護老健施設健寿荘施設長 増井玲子氏。	76名
認知症講話	4回	11月	小袋サロン	20名
		12月	生きがいデイ三光	5名
		12月	生きがいデイ三光	6名
		12月	生きがいデイ耶馬溪	25名
計				284名

② SOS声かけ模擬訓練(第4回)

項目	回数	内容
実行委員会会議	3回開催	三光地区内の地域住民・警察・福祉施設・消防団・イオン三光・小学校・中学校・医療機関・行政等で実行委員会を組織し、当日までの準備(2回)、終了後の振り返り(1回)を行なう
SOS声かけ模擬訓練	日時	平成30年11月25日(日)9:30~12:00
	場所	三光公民館~成恒、佐知、イオン三光店内
	内容	認知症に関するオリエンテーション、搜索訓練、振り返り
	参加者数	130名

③ オレンジカフェ

- ・ 認知症患者、家族、地域住民、専門職等が集い、共に楽しんだり、理解し合い、つながり再構築の場として開催。

地区	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
開催場所	三光福祉保健センター	音猫	やすらぎ荘	山国社会福祉センター	4カ所
開催回数	4回	4回	4回	4回	16回
参加者数(延べ)	146人	61人	47人	59人	313人

④ 認知症家族介護者の集い

三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区内の認知症患者を介護している家族に対し、同じ立場の人同士での交流や意見交換の場をつくり、心のケアや介護負担の身体的精神的軽減を図る。年2回開催。

	第1回	第2回
開催場所	山国社会福祉センター	三光福祉保健センター
内容	望箭荘グループホーム山国の見学&交流会	認知症の人と家族の会メンバーの講話&交流会
参加人数	6人	25人

⑤認知症の人を地域で支える学習会

認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、医療、介護との連携を図る機会を作り、認知症の理解を深め地域で認知症の人を支える仕組みづくりを図る。

参加対象者	三光・本耶馬溪・耶馬溪・山国地区内の医療機関、介護保険事業所、民生委員、警察、住民型有償サービス、市役所職員、地域包括支援センター職員等
-------	--

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催場所	本耶馬溪公民館	耶馬溪公民館	本耶馬溪公民館	三光福祉保健センター
内容	事例検討 グループワーク	食についての講話 グループワーク	事例検討 グループワーク	コグニサイズ (脳トレ運動)
参加人数	50人	35人	38人	24人

⑥個別相談対応

個別訪問、家族との話し合い、医療機関へのつなぎ、福祉サービスへのつなぎ 等

地区	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	合計
対応件数	0件	1件	3件	0件	4件

1 1) 生活福祉資金貸付事業

低所得者や障がい者世帯に対し、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるよう資金面の支援と、相談等を行う事業。申請のほとんどが緊急小口資金という現状。

資金種類		相談延件数	申請件数	決定	決定金額
総合支援資金	生活支援費	1	0	0	0円
	住居入居費	1	0	0	0円
	一時生活再建費	2	0	0	0円
福祉資金	福祉費	18	0	0	0円
	緊急小口資金	255	54	54	4,563,000円
教育支援資金	教育支援費	17	2	2	2,988,000円
	就学支度費	26	5	5	1,478,000円
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	2	0	0	0円
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	0	0	0円
臨時特例つなぎ資金		1	1	1	32,000円
合 計		324	62	62	9,061,000円

※要保護世帯向け不動産担保型生活資金については、県社協が直接担当します。

1 2) 総合相談支援事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

「生活困窮」の要因をさまざまな視点からとらえ、生活困難な状況について継続的な相談支援をすると同時に、社会的孤立を防ぐ地域づくりを行なう事業。相談種別を限定しない総合相談窓口機能を持つ。

①暮らしの総合相談支援実績

実相談者数 294件

月別件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17件	38件	31件	28件	24件	28件	30件	19件	15件	19件	21件	24件	294件

相談種別 ※平成30年度の種別内訳。重複あり

病気、健康、障がい	住まい	収入・生活費	家賃・ローンの支払	税金や公共料金等の支払	債務	仕事探し、就職	仕事上の不安やトラブル	地域との関係	家族・人間関係
42件	25件	146件	24件	17件	12件	48件	7件	6件	31件

子育て	介護	ひきこもり・不登校	DV・虐待	食べる物がない	生活支援	権利擁護	その他	合計
7件	16件	15件	4件	21件	5件	33件	61件	520件

※その他については、他機関との連携や不安の訴え等

②家計相談支援事業

家計のバランスに不具合がおきている方に対して、収支プラン・貸付あっせん表等、短期から中長期の計画表を相談者と作成し、生活の立て直しと自立に向けた家計作りを行う

相談支援者数	8名
プラン対象者数	1名

③一時生活支援事業

ホームレスの人への緊急一時的な宿泊費と衣食の支援（現物給付）

実施回数	5回
実人数	5名

④食糧支援

食料がない方への緊急的な食糧支援（米、インスタント食品等）

延べ回数	58回
実人数	43名

④備品貸出し

日常生活に必要な備品（カセットコンロ、炊飯器、電気ケトル、自転車等）の一時貸出し

延べ回数	16回
実人数	13名

⑤就労準備モデル事業

平成30年度、大分県・県社協との協働でモデル事業として実施。自立相談での就労支援ではなかなか就労に結びつかない就職希望者を対象に中小企業家同友会中津支部の協力で実施。

中小企業家同友会中津支部との打合せ	3回	受入時期	11月末～12月
企業との打合せ回数	4回	受入期間	5日間
		受入企業数	4社
		体験参加者数	3名

⑥会議・研修会の開催

事業項目	回数	内 容
福助ネット会議	12回	毎月1回開催。『生活困窮自立支援制度』に係る機関（社協）と『おおいた“くらしサポート事業”』に係るCSW及びスクールソーシャルワーカー等が連携し、相談者に対する効果的な支援を行うため、定期的な連携会議を開催。
ハローワークとの連携会議	1回	生活困窮者の就労問題について意見交換を行い、就労先紹介、情報共有等を行う。また、ハローワークと協働し、生活困窮者の発掘と就労による自立支援を図る。
支援調整会議	1回	3月に行政（福祉推進係・生活保護係）と社協（自立相談支援機関）で相談者の状況について情報共有。平成31年度からの月1回開催につなげる。
はろかふえ（おしごと相談会）	2回	ハローワークとジョブカフェの専門職にも参加してもらい、就労に不安や問題を抱えている方、就職活動が上手くいかない方に対して、気軽に来れるカフェのような雰囲気のある場所づくりとして10月・1月に開催。
地域協議会	1回	県と市との協働で開催。29年度のモデル実施を受けて、30年度より本格実施。市内の全社会福祉法人と地域関係者、行政各関係部署、社協とで構成され、中津市内における地域福祉課題について情報共有を図る場。
生活困窮研修会	1回	中津市内の浄土真宗西本願寺派からの依頼により、住職・門徒の方々を対象に実施。生活困窮の事業及び現状を伝え、理解を深めてもらう。

(2) 心のケア事業（ほっとテラス）

医師・心理カウンセラーによる、住民の抱える不安や福祉ニーズへの対応、また、家族関係・人間関係など各種相談に応じる専門相談事業。

担当	相談形式		実績	
			相談開設回数	相談者数
橋本 眞子医師 （精神科医）	奇数月第2水曜 午後2：00～4：00	原則2名 （要予約）	6回	6名

1 3) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートセンター中津）

認知症等高齢者や知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方を対象に、日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手、理解、判断、意思表示を適切に行えるよう支援を行う。

・相談支援対応件数

内 訳

- ・初回相談受付・問い合わせ対応
- ・契約締結までの間の訪問、支援計画の作成、連絡調整
- ・利用開始後の相談対応
- ・その他、総合的な相談対応等

・新規契約 ・解約者

・契約者数（3/31現在）

内訳

居住エリア別	中津	三光	本耶馬溪	耶馬溪	山国	その他※1	合計
	60名	6名	5名	5名	5名	3名	84名
居住状況別	在宅		施設		病院		84名
	42名		32名		10名		
世帯経済状況別	生活保護世帯			生活保護以外			84名
	32名			52名			
年齢別	65歳以上		40～64歳		39歳未満		84名
	62名		19名		3名		
障がい種別	認知症等高齢者		知的障がい	精神障がい	その他※2		84名
	55名		20名	7名	2名		

※1…契約している方が日田・宇佐・豊前の施設等に一時的に入所・入院

※2…障がい疑われる人

・生活支援員登録数

1 4) 成年後見事業

(1) 市民後見推進事業

今後の第三者後見人としての「市民後見人」の養成及び市民への成年後見制度周知等の取り組みについて推進（市受託事業）

①会議の開催

事業項目	回数	内容
市民後見推進協議会会議	3回	学識経験者・弁護士・司法書士・社会福祉士・行政等と家裁主任書記官（オブザーバー）で構成する事業推進の協議会。（5/24、8/8、3/20）

②市民後見推進研修会の開催

開催回数	内容	参加者数
1回（6月開催）	講演「意思決定支援と市民後見人」（弁護士：田中利武氏） パネルディスカッション「安心して暮らし続けるための地域での取り組み」 （法人後見支援員・住民型有償サービス・認知症地域支援推進員・法人後見担当者）	50名

③市民後見人養成講座の開催

第4期生となる市民後見人養成講座の開催

実施期間	開催回数	内容	受講者数	修了者数
平成30年9月～12月	12回	市民後見人に必要な知識と実務を学ぶため、さまざまな専門職による講義と事務を学習、対人援助を学ぶための施設実習	11名	8名

※未修了の3名のうち2名は31年度補講により修了予定

④市民後見人候補者フォローアップ研修の開催

今までの養成講座を修了し、市民後見人候補者として登録した人（27名）を対象に研修を開催。

登録更新には各種別1回以上の受講を義務付け。

研修種別	回数	開催日	内容	市民後見人候補者参加者数
講義	4回	平成30年6月24日	市民後見推進研修会	16人
		平成30年8月22日	成年後見制度利用促進法について	11人
		平成30年10月6日	市民後見人養成講座「対人援助の基礎」①	3人
		平成30年10月20日	市民後見人養成講座「対人援助の基礎」②	8人
講義（他主催）	3回	平成31年3月20日	終活研修会「最期まで私らしく生きる」	3人
		平成31年3月21日	終活研修会「あなたらしく人生を送るために」	2人
		平成31年3月22日	「認知症の方を在宅で支えるために」	3人
実務	3回	11/9～12/18（6日間）	市民後見人養成講座「施設実習」	3人
		平成30年12月22日	市民後見人養成講座「事例検討②」	19人
		平成31年3月10日	先進地研修「現役後見人の活動を知る（NPO法人 ふくおかネット）」	8人

（2）法人後見事業

法人として、後見人となり、被後見人の身上監護・財産管理を行う。

受任時の手続きは職員が中心に行い、日常的な後見事務は後見支援員を中心に実施。（市受託事業）

事業項目	数	内容
新規受任者数	4件	市長申立による受任3件。親族申立てによる受任1件。
後見業務	14件	累計受任数18件の事務。これまで4名の被後見人が亡くなっている
申立て支援	1件	親族による申立てで、書類作成、家裁との調整等申立て事務をサポート。
法人後見支援員登録者数	13名	平成30年度市民後見人候補登録者27名中。
後見業務に携わる支援員数	10名	法人後見支援員13名のうち、実際の後見事務担当者として任命した支援員数。
受任調整委員会の実施	4回	専門職等有識者による受任調整会議を設置・開催し、法人後見事業で受任する事案について協議。30年度協議件数：7件

15) 介護保険要介護認定調査事業

被保険者からの要介護認定申請に基づき、認定調査員が自宅もしくは施設へ訪問し、対象の方の心身の状況などを調査する業務（市受託事業）
調査件数 2,519 件/年

16) 放課後児童クラブ事業

就労等により昼間保護者のいない小学校に就学する児童に対して、授業の終了後における適切な保護及び健全な育成を図る。（市受託事業）

年間実施日数 1,417日開設

登録児童人数 125名

延利用児童人数 17,336名

真坂	286日
山口	284日
秣	282日
樋田	282日
城井	283日

真坂	35名
山口	28名
秣	27名
樋田	25名
城井	10名

真坂	4,704名
山口	4,171名
秣	5,061名
樋田	2,024名
城井	1,376名

5. 多様な人材による地域活動の推進

1) みんなのふくしまつり開催事業

アトラクションコーナー、ボランティア団体や福祉団体・学校等による屋台、体験コーナー、地域ボランティアの紹介コーナーなど、多様な内容で開催。親子連れも多く、小さな子どもから高齢の方まで多世代の方の参加があり、また、市内の高校生も当日ボランティアとして多数協力いただきました。

[実施日時] 平成30年11月11日（日）午前10時から午後2時まで

[参加者数] 約1,000名（一般参加者 900名＋ボランティア等関係者 100名）

[内 容]

アトラクション	子ども神楽、太鼓演奏、保育園鼓笛隊、高校生吹奏楽・チアダンス、
バザー・屋台コーナー	ボランティア団体、福祉施設等による出店
参加体験・見るコーナー	地域ボランティア紹介、健康チェック、はたらく車、福祉体験、絵手紙、作品展示、ものづくり、防災等
その他	じゃんけん大会、お楽しみ抽選会、共同募金受付 等

[企画検討会議開催数]

企画検討会議	社協各部署の職員と基幹相談支援センターで構成する企画検討会議	3回
振り返り会議	実施後、職員アンケートを通じての振り返りと次回に向けての検討会議	1回

2) 住民参加型有償サービス事業（社協型）

自助・互助の精神を基調とした地域の“ボランティア的な”意識を持たれた人々と、低額有料（非営利）のサービスを必要として在学中で自立した生活を営む人々などが、地域に暮らす住民の構築をひとりひとりがお互いに助け合う社会を目指し、地域福祉の向上に寄与することを目的として実施。

社協運営登録者数

協力会員	6名	利用会員	12名	延利用回数	181回	延利用時間	151時間
三光	4名	三光	10名	三光	175回	三光	144時間
本耶馬溪	2名	本耶馬溪	2名	本耶馬溪	6回	本耶馬溪	7時間

3) 生活支援体制整備事業

地域包括ケアシステムの構築に向け高齢者の生きがいづくり・介護予防の視点を持ち、高齢者ニーズを把握し、生活支援サービスをはじめとする資源開発や地域づくりを行う事業。（市受託事業）

(1) 生活支援コーディネーター設置

コーディネーター	人数	担当場所			
第1層生活支援コーディネーター	1名	市内全域			
第2層生活支援コーディネーター	4名	南部	今津 (1月～)	三光	山国 ※山間地域の 第1層サポート

(2) 生活支援コーディネート業務

- ・地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

内容	第1層	第2層
いきいきサロン、地域サロン等へ参加し、高齢者の実態把握	44回	141回
元気！いきいき☆週一体操への参加による実態把握	66回	
住民型有償サービス定例会等への参加により高齢者の状況や課題を把握	51回	35回

- ・地域への働きかけ

有償サービスネットワーク協議会への参加	14回
地域福祉ネットワーク協議会会議の参加	49回
民生委員会議への参加	13回

- ・資源開発

住民型有償サービス立ち上げ支援（南部・三光・小楠）	34回
担い手の育成（各種講座開催・協力）	27回
サービス開発（有償サービス発足）・・・南部さくらサービス、三光こすもすサービス	

- ・ニーズに対するマッチング

生活支援サービスコーディネート	82回
-----------------	-----

- ・その他

コーディネーター学習会の開催	12回
----------------	-----

(3) 他機関との連携

地域ケア会議への参加	7回
------------	----

(4) 協議体

第1層協議体	「生活支援・介護予防を考える会」～移動支援について～	参加者	35名
第2層協議体	三光地区小地域ネットワーク協議会にて開催		15回

(5) 多機能型地域生活拠点づくり「よりあ」

地区	場所	開催日	開催回数	参加者数(延べ)	内容
沖代	すずめの家	毎週水曜 午後	50回	202名	・認知症に関する相談会 ・口腔ケア講座 ・知的障がい者施設との交流 ・悪質商法講習 ・メイク講座 ・介護施設についての講座 ・栄養講座 等

(5) 会議等への参加・協力

包括 社会福祉士部会	9回	オレンジカフェ (三光)	2回
居宅連絡会 (4ヶ所)	4回	SOS声かけ模擬訓練会議	3回
地域ケア推進会議	1回	シルバー人材センターとの会議 (南部)	1回
中津市地域協議会	1回	ケース会議 (南部)	1回
中津市在宅医療介護連携推進協議会 (傍聴)	2回	地域ケア会議 (耶馬溪版)	1回
地域のお困りごと共有会議 (本耶馬溪)	1回	ヘルパー連絡協議会	1回

4) 中津市福祉の里づくりサポーター事業

65歳以上の中津市の介護保険第1号被保険者が、サポーター活動を行うことによって、本人の健康増進・介護予防・社会参加・地域貢献を通じた生きがいを目的として実施。(市受託事業)

サポーター登録者数	561名
受入登録施設・事業所	123カ所
評価ポイント内スタンプ数	16,346個

(高齢者施設、障がい者施設、児童施設、給食ボランティア、地域サロン等)

中津市福祉の里づくりサポーター事業情報誌「ふくサポ」発行 年1回 各887部発行

5) ファミリー・サポート・センター事業

子育て中の家庭を応援するために、子どもの預かり等の援助を受けたい方(おねがい会員)と預かり等の援助を行う方(まかせて会員)との相互援助活動に関する相談援助・連絡調整を行う。(市受託事業)

おねがい会員登録者数	103名	活動件数	167件
まかせて会員登録者数	88名	活動延時間数	236時間
両方会員	3名		

平成30年12月26日 ファミサポ会員交流会を開催 参加者 18名

6. 福祉意識の高揚・啓発及び育成

地域福祉の情報提供により、社会福祉協議会の事業紹介、福祉及びボランティア意識の育成並びに活動啓発のため広報紙を発行。

1) 社協だよりの発行

名称	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先	備考
社協だより なかつ	3回	34,000部	市内全戸	6/15、10/1、2/15発行
社協だより なかつ(点字版)	3回	30部	市内視覚障がいの方	同上

2) 地域福祉情報紙の発行

地区	名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
三光	とんぼのめ	4回	1,900部	全戸、公共施設
本耶馬溪	にじのはし	3回	1,500部	全戸、公共施設
耶馬溪	めいふる	3回	1,600部	全戸、公共施設
山 国	かかし	12回	1,000部	全戸、公共施設

3) ボランティア情報紙の発行

名称	年回数	1回の平均部数	主な配布先
ボランティア・市民活動情報紙ぺんぎん	6回	5,500部	公共施設、自治委員、民生委員、ボランティアグループなど

4) 地域福祉・ボランティアに関する研修・講座の開催

No.	講座・研修名	回数	参加者	開催時期	対象	概要
1	支え合いスタッフ養成研修	3回	26名	7月	小楠地区住民	高齢者の介護予防・生活支援を進める生活支援体制整備事業の一環として開催。開催後は人財バンクへの登録、住民型有償サービス団体の組織化やボランティア活動等へつなげている講座。
			25名			
			27名			
2	あんさんくフォローアップ研修	2回	75名	9月	あんさんく登録者	中津保健所が主催する介護予防マニュアル研修との共催で実施。専門職からノウハウを学ぶ。
			54名			
3	お宝探し塾 in 三光	3回	51名	11月 12月 2月	三光地区住民	平成29年度から取り組み始めた講座。第2層生活支援コーディネーターを設置した地区にて開催。名もなき地域福祉活動を住民自身が発見し、発表する取り組み。
			39名			
			65名			
4	サロンサポートボランティア養成講座	1回	52名	12月	寄り合いの場ボランティア	サロン等寄合の場活動を元気にするボランティア養成講座として開催。「ガンバルーン」というミニボールを使った体操・ゲームを学習。講師：NPO法人ココフル代表 下釜純子氏
5	ボランティア講座『スイーツ男塾』	1回	20名	12月	男性	スイーツを作り、できたものを参加者の皆さん自ら高齢者施設入所者に届けた。講師：東九州短期大学 木下美千代氏。
6	住民型有償サービスマネージャー研修	3回	18名	10月 2月 3月	住民型有償サービスマネージャー	住民型有償サービス団体でマネージャーとして活動していく上で必要な知識や情報共有を行う。(傾聴・交流・ヘルパー協との話し合い)
			16名			
			17名			
7	まーちゃん家「元気塾」	3回	19名	2～3月	耶馬溪・山国サロンボランティア	県作成の「介護予防マニュアル」を使ったモデル事業として実施。口と耳について、高齢者支援のポイントを学び、3回の学びを通じて、3月の寄り合いの場交流研修で伝達講習を行う。
			17名			
			15名			
8	親子で防災教室	1回	111名	3月	小学生と保護者	消防署やボランティア団体の協力のもと実施。地震体験や煙体験、避難所体験、非常食づくり等の体験型プログラムと、〇×ゲームや防災標語の作成など行い、家族や参加者同士で楽しく防災について考える講座として開催。
9	寄り合いの場交流研修会	1回	97名	3月	寄り合いの場ボランティア	市内全域で広がっている寄り合いの場活動の推進を目的に3部構成で実施。日頃から行なっている内容を披露、介護予防知識を住民自らが伝達講習、講話という構成。

18回 744名

5) 事業所広報紙・新聞

No	広報紙・新聞名	年間発行回数	1回の平均部数	主な配布先
1	やすらぎだより	12回	125部	施設入所者の家族と関係者
2	ウテリー だより	4回	80部	利用者の家族と公共の施設 (山国地区)
3	なのはな便り	3回	85部	利用者の家族と公共の施設 (耶馬溪地区)
4	ひなぎく	6回	85部	利用者の家族と公共の施設 (本耶馬溪地区)
5	さんこうデイだより	12回	50部	利用者の家族と公共の施設 (三光地区)
6	児童館だより	12回	650部	三光地区の小中学校と児童関係の施設
7	三光子育てサロンだより	12回	20部	子育てサロン会員、市役所

6) ホームページ

新鮮な地域福祉に関する情報、地域資源の紹介、社会福祉協議会の紹介などをインターネットを通じて発信。

ホームページアドレス : <http://www.nakatsu-s.or.jp/>

7) 「わいわい福祉ひろば」事業

社協内にハートプロダクションを設け、市内近郊の視覚、聴覚、肢体の障がい者及び手話や点訳ボランティア、高齢者等をタレント登録し、市内の小学校等に派遣し、生活体験の講話や疑似体験学習を通し、障がい者の理解・高齢者理解などの福祉意識の啓発を図る事業。

【年度実績】

実施小学校数（校）	20校
年間開催回数（回）	56回
受講者数 児童生徒（人）	2,526人
受講者数 保護者（人）	105人

【コース別】

聴覚コース	15回
視覚コース	15回
肢体コース	11回
エルダーコース	15回
合計	56回

7. 法人組織体制の強化

1) 職員配置状況（所属別）

①所属別

平成31年3月31日現在

単位：名

名称	正規	嘱託	臨時	非常勤	計
総務課	8	9	1	3	21
地域福祉課	22	7	0	3	32
福祉サービス課	4	2	4	42	52
在宅福祉課	37	6	23	86	152
豊寿園	9		4	16	29
やすらぎ荘	42	1	12	16	71
計	122	25	44	166	357

②拠点別

単位：名

名称	正規	嘱託	臨時	非常勤	計
中津市教育福祉センター	14	8	1	2	25
養護老人ホーム豊寿園	9		4	16	29
三光福祉保健センター	9	7	6	20	42
三光生きがい支援センター			1	3	4
放課後児童クラブ（5か所）				18	18
本耶馬溪総合福祉センター	9	1	8	27	45
市本耶馬溪支所	5	1			6
特別養護老人ホームやすらぎ荘	42	1	12	16	71
市耶馬溪支所	10	1	0	0	11
耶馬溪デイサービスセンター他	14	2	4	35	55
耶馬溪生活支援ホーム			1	6	7
山国社会福祉センター	4	3	1	2	10
山国高齢者生活福祉センター	6	1	6	21	34
計	122	25	44	166	357

※兼任している職員は、主としている事業所に計上

2) 法人内部における会議・委員会

[会議・各部会の開催状況]

No	会議名	回数	所管
1	課長会議	23	総務課
2	エリア会議	45	総務課
3	係長会議	8	総務課
4	やすらぎ運営会議	12	やすらぎ荘
5	高齢者虐待防止委員会	4	やすらぎ荘
6	QOL生活向上委員会	3	やすらぎ荘
7	身体拘束未然防止委員会	7	やすらぎ荘
8	感染症防止委員会	4	やすらぎ荘
9	事故防止委員会	6	やすらぎ荘
10	褥瘡防止委員会	4	やすらぎ荘
11	看取り研修委員会	3	やすらぎ荘
12	すっきり委員会	4	やすらぎ荘
13	接遇委員会	2	やすらぎ荘
14	喀痰吸引委員会	12	やすらぎ荘
15	やすらぎ運営会議プロジェクト会議	10	やすらぎ荘
16	生きがい通所介護部会	3	在宅福祉課

No	会議名	回数	所管
17	機能訓練専門部会	5	在宅福祉課
18	居宅介護支援部会	4	在宅福祉課
19	通所介護部会	6	在宅福祉課
20	訪問介護部会	3	在宅福祉課
21	通所看護部会	6	在宅福祉課
22	通所介護職部会	5	在宅福祉課
23	調理部会	5	在宅福祉課
24	居住部会	2	福祉サービス課
25	事故防止委員会	14	豊寿園
26	感染症対策委員会	11	豊寿園
27	支援員会議	37	豊寿園
28	献立委員会	12	豊寿園
29	ケース会議	25	豊寿園
30	実習担当委員会	なし	実習担当者
31	実習指導部会	なし	実習指導者

8. 各種地域福祉事業

1) 葬祭壇貸出事業

葬祭具の貸出を実施

【貸出件数】

16件	耶馬溪	8件
	山国	8件

2) 祝金婚記念品贈呈事業

平成30年度に金婚を迎えた夫婦に対して、記念写真及び額を贈呈。

(校区)

南部	1件	鶴居	6件	今津	6件	合計	49件
北部	3件	大幡	3件	三光	10件		
豊田	8件	如水	3件	本耶馬溪	14件		
沖代	7件	三保	1件	耶馬溪	7件		
小楠	4件	和田	2件	山国	5件		

3) 三光児童館事業

18歳未満のすべての子どもを対象とし、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもの健全育成に資するとともに児童館の適正な運営を図った。

1) 開館日数 261日

児童館利用者数 12,059名

就学前児童	440名
小学生	10,815名
中高生	240名
保護者・ボランティア	564名

2) 三光児童館運営協議会の開催

日にち : 平成30年7月6日(金) 委員出席(7名)

3) 広報

名称	発行月	部数	備考
児童館だより	毎月	650部	三光地区の小中学校と児童関係の施設、ホームページ
三光子育てサロンだより	毎月	20部	子育てサロン会員、市役所

4) 寝たきり高齢者見舞品贈呈事業

市内の寝たきり高齢者世帯に対して、日常生活上の在宅介護に係る負担軽減と便宜を図ることを目的として、歳末助け合い募金配分事業により、見舞い品(介護用品)を贈呈。

(校区)

南部	6件	大幡	10件	本耶馬溪	8件	合計	132件
北部	12件	如水	7件	耶馬溪	7件		
豊田	5件	三保	3件	山国	10件		
沖代	15件	和田	3件				
小楠	6件	今津	8件				
鶴居	19件	三光	13件				

5) 障がい者ミニデイ支援(鈴の音)

障がいのある方とボランティアがお互いに理解・尊重して、共に地域の住民として交流できる場として、社協として障がいのある方への支援に対するニーズ把握の場を目的として開催。

開催日	開催回数	利用者数	ボランティア数	内容	
第3水曜	11回	実数	9名	実数	ウォーキング、体操、講話、音楽鑑賞、野外研修等
		延べ数	58名	延べ数	

6) 安心生活支援事業(買い物支援事業:山国)

一人暮らし高齢者及び高齢者世帯等のうち、買い物が不便な方が登録。利用者の依頼に対して買い物代行し、自宅に届ける事業。

利用登録会員	31名
実利用者数	16名
買い物配達回数	360件
買い物支援を行った販売金額	904,895円 * 1回当たりの平均購入額 2,514円

7) 障がい者等生活環境整備事業

住環境により福祉サービスを利用できない等社会生活に支障が出ている障がいのある人やその世帯に対する支援事業。

支援件数	利用世帯人員	地区	支援内容
1件	3名	本耶馬溪	住民型有償サービスによる環境整備を実施

9. ボランティア市民活動センター事業

1) ボランティア・市民活動センター事業

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティア活動の発掘と支援のための相談、連絡、調整、育成、啓蒙活動等を実施。

①ボランティア希望・募集・相談 135件

②ボランティア登録状況

種別	団体数	団体会員数
団体Vo	157団体	3,679名
個人Vo		734名
計	157団体	4,413名

③ボランティア活動保険

ボランティア活動を行う個人・グループが安心して活動が行えるようボランティア活動保険の加入促進。

加入者数 3,029名

④ボランティア体験月間の取り組み

		夏のボランティア体験	春のボランティア体験	合計
実施期間		平成30年7月～8月	平成31年3月	
受入施設数		34カ所	16カ所	
参加者内訳	一般	1名	1名	2名
	大学・専門学校生	25名	1名	26名
	高校生	162名	99名	261名
	小・中学生	48名	3名	51名
	参加者合計	236名	104名	340名

⑤ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

中津市ボランティア・市民活動センターが行う、ボランティア活動・市民活動の推進に関わる様々な事業の運営について、多様な立場の考え方や意見を反映させることにより、さらなる事業の発展及び市民に開かれたセンターを目指す目的として、中津市ボランティア・市民活動センター運営委員会の設置及び開催。

運営委員	11名	学識経験者、ボランティア活動者、当事者団体、地域活動者等で構成
開催回数	2回	7月：前年度事業報告、事業計画、意見交換
		1月：事業進捗状況、意見交換

10. その他社協事業

1) 福祉バス運行事業

地域福祉活動の研修、交流を図るための福祉バス「さつき号」の運行事業。

回数 112回 延利用者数 3,213名

2) 災害見舞金支給事業

市内に在住する世帯で、災害（火災、風水害等）により家屋が損害を受けた世帯に対して、見舞金を支給。

火災 2件 災害 2件

3) 施設等管理運営事業

No	施設名	開館日数	延利用者数
1	中津市教育福祉センター	308日	37,459名
2	三光福祉保健センター	245日	8,658名
3	本耶馬溪総合福祉センター管理棟	308日	584名
4	耶馬溪介護研修センター	289日	355名
5	すばーく耶馬溪多目的広場	277日	1,006名
6	山国社会福祉センター	334日	4,435名

11、各種共催・後援状況、視察受入、協力

1) 行事の共催及び後援状況

No.	形態	日にち	行事名	主催者名
1	後援	H30. 7. 20	デフパペットシアターひとみ 豊前公演「人形劇 河の童」	デフパペットシアターひとみ豊前公演実行委員会
2	後援	H30. 10. 6	～介護就職デイ～2018年度 県北地区福祉のしごと就職フェア	大分県社会福祉介護研修センター
3	後援	H30. 12. 2	朗読コンサート杜の声	朗読サークル杜の声
4	後援	H30. 12. 20	なかつ子ども劇場40周年記念事業 アラビアンナイト ～魔法のランプと明日のヒカリ～	なかつ子ども劇場

2) 視察の受入れ、協力状況

No.	年月日	県等	受入先	受入数	視察内容
1	H30. 4. 4	福岡県	豊前市社会福祉協議会	2名	生活支援体制整備事業、お宝探し塾取組の内容
2	H30. 4. 10	福岡県	みやこ町社会福祉協議会・地域包括支援センター	3名	生活支援体制整備事業、お宝探し塾取組の内容
3	H30. 5. 1	佐賀県	吉野ヶ里町社会福祉協議会	3名	寄り合いの場の取組、ボランティア意識啓発
4	H30. 5. 8	大分県	玖珠町社会福祉協議会・住民	25名	寄り合いの場の取組、ボランティア意識啓発
5	H30. 5. 25	北海道	日本医療大学	1名	中津市における地域福祉推進の取組
6	H30. 6. 8	大分県	杵築市・杵築市社会福祉協議会・住民	15名	住民型有償サービスの取組（沖代・北部）
7	H30. 7. 17	大分県	杵築市・住民	16名	住民型有償サービスの取組（沖代・北部）
8	H30. 10. 30	大分県	大分市西の台校区	24名	沖代すすめ経緯や活動内容
9	H30. 11. 13	鹿児島県	薩摩川内市河愛地区	15名	寄り合いの場の取組（沖代）
10	H30. 11. 16	鹿児島県	薩摩川内市永利地区	17名	住民型有償サービスの取組（沖代）
11	H30. 11. 20	福岡県	水巻町住民	39名	住民型有償サービスの取組（沖代）
12	H30. 12. 2	大分県	玖珠町森自治区	15名	沖代すすめの家の見学
13	H30. 12. 4	佐賀県	太良町地域包括ケアシステム研究会	15名	中津市における地域福祉推進の取組
14	H30. 12. 6	大分県	日田市社会福祉協議会・有償サービススタッフ	15名	住民型有償サービスの取組
15	H30. 12. 11	大分県	玖珠町八幡地区	15名	沖代すすめ経緯や活動内容
16	H30. 12. 25	大分県	杵築市生活支援コーディネーター	2名	生活支援体制整備事業について
17	H31. 1. 25	福岡県	岡垣町住民	21名	沖代すすめの家の見学
18	H31. 3. 5	佐賀県	太良町幸せの町づくりサポーター	33名	沖代地区における地域福祉活動について
19	H31. 3. 22	大分県	竹田市住民	17名	沖代地区における地域福祉活動について

合計 293名